

〈取り組み内容〉

- 障害者の雇用の促進に関する法律に基づく障害者雇用率を達成している。
H26年6月時点の障害者雇用率:3.68%
H25年6月時点の障害者雇用率:2.17%
障害者を3人雇用(身体障害者2人、知的障害者1人)。

障害者の就労を増やすあたたかい環境を

楠病院は『ここはいつもあたたかい』を理念にアットホームな療養環境を提供しています。「訪問介護、障害者のヘルプ、高齢者や障害者そして子どもとの“共生型サービス”として『ほとめきサロン』を開設する等、地域住民や地域活動団体等と協力して取り組んでいます。その中で障害者の就労支援も積極的にやっていきたいと思っています」と語る、常任理事の吉永美佐子さん。

現在、就職して6年目を迎える青木辰子さんは障害を持ちながら清掃の仕事に従事しています。「最初は不安でいっぱいでした。清掃にも時間がかかっていたけど、周りの人に教えてもらいながら時間も早く終わるようになりました。皆が“キレイになったね”と喜んでくれると嬉しいです」と笑顔で話します。

「就労にあたっては、実習に通ったり細かい掃除のマニュアルを準備したり等、周りのスタッフの協力があります。今では青木さんの清掃で病院のお手洗いもとてもキレイになりました」と吉永さんも感謝の気持ちを表します。「ひとり暮らしをするのが夢です」と仕事に励む青木さんをあたたかく見守るスタッフ。今後も障害者の雇用や実習受入など就労につながる取り組みに熱意を示しています。



常任理事
吉永 美佐子さん
よしなが みさこ



清潔感のある病院受付。



床掃除のルール。床に番号を決めて、その番号の順番通りに掃除をしていきます。人がいるときは1つ番号を飛ばします。

青木辰子さん

〈取り組み内容〉

- 安心して育児休業から復帰できるように、復帰前に勤務体制について相談を受けたり、業務内容の変更点などについて研修を行っている。
- 育児休業復帰後の短時間勤務制度を実施し、勤務時間を自由に設定できる。また子どもが何歳でも短時間勤務(正社員)に切り替えることができ、夜勤や残業を免除している。

安心して両立できる柔軟な配慮

従業員の仕事と家庭の両立に向けた、働きやすい環境を整えるための制度を積極的に導入している楠病院。「ここは女性が多い職場です。私も女性ですので、同じ目線で結婚、出産・育児の応援をしたいと思っています。社員が出産後も働きやすい環境を作っていききたいです」と吉永さん。今後は病児保育もできる保育園を作りたいと、さらなる環境の充実を目指しています。

リハビリ理学療法士の磯村智華さんは昨年出産、一年間の育児休業後、今年9月に職場復帰しました。「私は午前8時30分から午後5時30分までのフルタイムで働いています。復帰に迷いはありませんでした。年齢が近く同じ状況で働くスタッフさんが多いので、育児の悩みも話せるから心強いです」と、出産後も安心して働ける環境のなか、いずれは「ケアマネージャーの資格を取得したい」という目標も見つけています。

また、介護福祉士の永島忍さんは4月に職場復帰。「子どもが病気のときなども休みを取りやすいです。利用者の方から、早く帰ってきてとの声もあり、早めに復帰しました」と、働く喜びと、仕事と家庭の両立が実践しやすい環境であることを語ります。



いつもあたたかい笑顔の対応を心がけている病院スタッフのみなさん。



患者さんへの介助。

デイケアの利用者さん達とレクリエーション。



1児の母親でもある介護福祉士の永島忍さん。

1児の母親でもあるリハビリ理学療法士の磯本知華さん。

職場上司のリハ・通所部課長金子貴志さん。